

(無償の愛?)



昔、死んだばあさんにさんざん「タダほど高いものはない」と教えられました。タダならいいじゃん！と思うかもしれませんが、どっこい問屋はそう簡単には下ろしてくれません。

タダで貰うと、あるいはして貰うとなんか後々逆らえないような、言われたことには従わなきゃいけないような「無言のプレッシャー」を受けることになります。

「無償の愛」などと言うのは、その最たるもので、受けたが最後、もう絶対服従あるのみみたいなものです。神さまとか親の「無償の愛」には気をつけましょうね。後が怖いんです。殆ど恫喝と脅迫みたいなものになりやすいのです。与える方は無償の愛だと悦に入るかもしれませんが、受ける方は、永遠のがんじがらめとかだったりする場合もあるのです。

だったら、やはり、して貰った分お金を払う有償の方がいいでしょう？受けて払ってイコール、イーブンゼロ。貸し借りなしで、その場で一丁上がり。後腐れ無し。もし有償が嫌なら、少なくともお返しだけは認めて貰える状態を確保できた方がいいのです。

と僕は最近思うようになりました。